

ひだか

議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第174号
平成31年4月30日



日下小学校入学式

平成31年度予算……………2～3P
 行政報告……………2～4P
 審議したこと・決まったこと……………5～6P
 臨時会・私の意思表示……………7P
 閉会中の委員会活動……………8～10P
 一般質問に8氏が立つ……………11～18P
 議会日誌……………19P
 編集後記……………20P

スタート〔一般会計〕特別会計 可決

単位:千円

農林水産業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費	一般会計
107,041	1	257,441	901,288	632,736	59,016	平成30年度予算額3,708,897
108,001	1	253,289	974,309	2,259,366	59,174	平成31年度予算額5,454,457
新規就業支援補助 農業用施設維持管理工事 鳥獣被害対策 緊急間伐総合支援事業	労働諸費等	予防接種委託料 合併浄化槽設置補助 ごみ収集委託料等	乳幼児・児童医療費無料化 児童手当 日下保育園能津分園整備事業	新庁舎建設関係 地域おこし協力隊関連事業 高知県議会議員・知事選挙等	議会だより印刷製本 会議録調整業務委託 議会運営費等	

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

東洋電化工業と 災害協定の締結

12月10日に東洋電化工業と災害時におけるごみ等の処理について災害協定を締結した。

自殺対策計画を 策定

自殺対策基本法の改正により、自殺対策計画を第二期の日高村健康増進計画・食育推進計画の中に盛り込み、本年度中に策定する。

絵本「オムライスかあちゃん」とオムライス新聞を寄贈

絵本「オムライスかあちゃん」とオムライス新聞を県内の幼稚園、小学校、教育委員会と全国の図書館、子ども食堂へ寄贈した。各保育園への寄贈も予定している。

「早速読み聞かせを行った」「有効活用させていたただく」「ぜひ日高村へ行ってみたい」など、多くのお礼の手紙とメールが届いた。

日高村商工会が 表彰される

平成30年11月に日高村商工会が、全国商工会会員福祉共済制度への加入者純増率が全国1位となり、全国商工会連合会から表彰を受けた。

これは、会員相互の助け合い制度に、日高村商工会の会員と事務局が一つになり取り組んだ結果であり、今後も連携し、日高村の商工振興を図っていただきたい。



寄贈した絵本と新聞

日高村71億円で

会計別の予算額(単位:千円)		予備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	商工費	
特別会計		3,000	383,971	13	366,717	178,806	791,579	27,288	
国民健康保険	686,080	3,000	357,357	13	374,337	194,916	840,724	29,970	
簡易水道	216,740		公債費	農林水産施設災害復旧費	土木施設災害復旧費	国際交流員招待事業 学力向上推進事業 図書購入費 運動公園グラウンド改修工事	仁淀消防組合分担金 能津消防屯所建設事業 避難所運営マニュアル作成	村道改良・維持管理 治水対策事業 住宅耐震対策事業 親水公園整備事業	商工会育成補助金 観光案内所運営補助 沖名調整池東屋等整備
住宅新築資金等	9,755								
介護保険	682,118								
後期高齢者医療	85,344								
計	1,680,037								

平成31年度明許繰越事業

- 交流拠点整備事業(地方創生推進)
- 庁舎建設事業
- 能津保育所整備事業
- 中山間地域等担い手収益向上支援事業
- 社会資本整備総合交付金事業
- 県工事負担金
- 急傾斜地崩壊対策事業
- 治水対策費
- 住宅耐震対策事業
- 空き家対策総合支援事業
- 親水公園整備事業
- 空調設備機器導入事業
- 土木施設災害復旧事業
- 農林水産施設災害復旧費

第9回日高村生涯学習フェスタ 開催

2月9日、10日に「華麗な村の光輝く未来に向けて」をテーマに第9回日高村生涯学習フェスタが開催された。

9日の「生涯学習大会」では、日高村の教育に功績のあった7人と3団体が表彰された。

活動発表では、高知県学

校新聞コンクールで特選を受賞した「15年間を通して学んだこと、日高村新聞づくりを通して」の取り組みを日高中学校3年生より発表された。

講演会では、島根県益田市ひとづくり推進監、大畑伸幸氏より「ひとづくりの環が地域再生の鍵」の演題で、実践事例を併せながら、地域の活性化につながる大変参考になる話であった。

その後のカレーパーティでは、子どもから大人ま

で世代を交えて、マジックショーを見ながらの楽しいひとときを過ごした。



生涯学習フェスタ

日下川新規放水路工事 (呑口側)見学会

2月16日、現在施工中の日下川新規放水路工事(呑口側)の村民見学会を国土交通省主催で9時30分と11時からの2回実施した。定員を超える62人の見学者があり、工事への関心の高さを感じた。

また1月23日には、村の水害の歴史を学ぶという観点から日高中学校2年生にも見学会を実施した。

今後も村民対象の見学会や子どもたちへの学習の機会を工事の進捗状況を見ながら開催し、地域に開けたかたちで工事を進めていくよう、国土交通省にも働きかけていく。

「日下川改修期成同盟会」開催

2月16日午後、日下川改修期成同盟会委員をはじめ、河川環境整備ボランティア団体や農業関係者など74人が、会議・見学会に



村民見学会

参加した。

会議では、要望活動の報告や、現在の床上対策の工事進捗状況の報告を、国・県・村が行い、活動の重要性や関係機関との連携を進めていくことの意義を確認した。

※日下川改修期成同盟会は、

日下川下流域の未改修区間の河川整備などを目的に平成24年度に設立され、平成26年の台風豪雨をきっかけに、下流域のみならず、日下川流域の抜本的な治水対策を関係機関に働きかけている。

日高村成人式が 挙行される

1月13日、成人式が行われ54人が成人された。

新成人の代表からは、「多くの皆様に支えられながら、平成最後の成人式を日高村で迎えられることを嬉しく思います。新たな時代を新成人として、自分の行動に責任を持ち、目標を見失わず、社会の一員として貢献できるように努力したい」と力強いメッセージを述べられた。

野村重夫議員が 功勞表彰受賞

野村重夫議員が全国町村議会議長会から町村議会議員として27年余りの長きにわたり、住民福祉の向上と地域振興の発展に尽くされた功績により功勞表彰を受賞された。

心よりお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をご祈念いたします。



平成最後の成人式 立食パーティー



功勞表彰を受賞した野村重夫議員

平成31年第1回定例会

審議したこと 決まったこと

H31.3.7~3.15

3月議会では、同意(人事)1件、条例関係8件、予算関係12件、その他1件の22件が決まった。

人事

◎教育委員会委員に中山園氏を任命することに同意した。



中山園氏

住所 日高村本郷253番地の2

生年月日

昭和49年4月25日

任期

2019年4月1日から2023年3月

31日

条例

◎日高村職員の配偶者同行休業に関する条例
配偶者が海外へ転勤することとなった場合に休業し、配偶者に同行できる制度を新しく制定するもの。

質疑

問 公布の予定日は、答 議決後、早い時期に公布する。

◎職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
超過勤務命令を行うことができる上限を規則で定める措置を講じる条例を追加するもの。

◎一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
条文を現状に適應する内容に整理し、文言を修正するもの。

◎日高村公共用財産管理条例の一部を改正する条例
日高村道路路占用料徴収条例と連動している占用料の文言を修正するもの。

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い改正するもの。

◎日高村国民健康保険税率例の一部を改正する条例

国民健康保険税率の改正を行うもの。

◎日高村介護保険条例の一部を改正する条例

平成31年10月からの消費税増税に伴い、低所得者の介護保険料軽減強化が示されたため改正するもの。

なお、第2条第2項、第4項までは国から正式に公布された後に施行期日を規則で定める。

◎日高村駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
地籍調査後の地番に見直し、修正をするもの。

予算

◎平成30年度日高村一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2千712万1千円を追加するもの。

質疑

問 エアコン導入の見通しは、答 12月議会で国補助の上限額を確保し、設計をしたところ多額となり、補正予算を提案した。予算を確保した上で、入札をし、速やかに工事をお願いする。

問 全国でこういう状況、動きであるから、見事予算はついたが、物が無い事態に陥ることを危惧するが、それなりの手立てを考えているか。

答 予算を確保し、工事を速やかにすることが最良の準備とされている。物を構えるのは業者となる。国の方から経産省等々に物を準備するよう通達していると聞いている。

問 企画費の地域おこし協力隊事業費は、隊員の退任での減額と説明があったが、詳しい説明を求めたい。

答 協力隊7人の予算を計上していたが、8月、9月期に2人が任期途中で、起業、就職を理由に退任した。1人は村内沖名地区で起業し、もう1人は高知市へ就職した。

問 能津保育所整備事業費4千755万円減額となっているが、減額の理由は。

答 造成工事と建築費を平成30年度予算で組んでいたが、造成工事の工法が変わり、構造計算等をやったり直した結果、事業費が増加となったため、平成30年度予算では、造成工事のみとし、明許繰り越しで実施する。建築事業費は、平成31年度予算に組み替えを実施する。

歳入歳出予算の総額からそれぞれ80万4千円を減額するもの。

◎平成30年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ157万円を追加するもの。

◎平成30年度日高村介護保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額からそれぞれ4千477万8千円を減額するもの。

◎平成30年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ162万8千円を追加するもの。

◎平成31年度日高村一般会計予算

歳入歳出予算額をそれぞれ54億5千445万7千円とするもの。

◎平成30年度日高村簡易水道特別会計補正予算（第4号）

は、庁舎建設事業によるもの。

◎平成31年度日高村国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算額それぞれ6億8千608万円とするもの。

◎平成31年度日高村簡易水道特別会計予算

歳入歳出予算額をそれぞれ2億1千674万円とするもの。

◎平成31年度日高村住宅新築資金等特別会計予算

歳入歳出予算額をそれぞれ975万5千円とするもの。

質疑

問 償還の対象件数は何件か。

答 現年度は3人、過年度18人である。

◎平成31年度日高村介護保険特別会計予算

歳入歳出予算額をそれぞれ6億8千211万8千円とするもの。

◎平成31年度日高村後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算額をそれぞれ8千534万4千円とするもの。

予算勉強会を実施

本年度初めての試みで、平成31年度一般会計予算の審議の前に予算勉強会を3月8日に実施をした。各課長から、予算の主要事業・新規事業等の説明を受けた後、それに対し、活発な質疑があり、実りある勉強会となった。

その他

◎土讃線岡花・土佐加茂間146k700m付近村道拡幅工事に係る2019年度協定の締結について



改良が進む繁谷平野線



承認

1月29日第1回臨時会が開催され、承認1件、議案1件が可決された。

◎専決処分の承認を求めることについて

日高村一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千24万6千円を追加するもの。

質疑

問 生活支援ハウス「コスモスの里」にスプリンクラーの設置が必要なことについて、いつ気がついたのか。なぜ専決処分としたのか。

答 かねてから、高齢者の支援ハウスなので、スプリンクラーの設置が必要

予算

ということから、昨年9月ごろ国に打診をし、12月に内示があったが、12月議会に間に合わなかった。

◎平成30年度日高村一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ850万円を追加するもの。

質疑

問 交流拠点整備事業は何回不落となったか。入札の経過の説明を。

答 第1回の入札は、平成29年11月7日に実施し、6社を指名、5社が参加、最終的に全社が辞退し不落となった。この入札時の予定価格と入札乖離額は180万円の超過であった。

第2回の入札は、平成30年1月12日に実施し、11社を指名、5社が参加、最終的に全社が辞退し不落となった。予定価格と

入札乖離額は430万円の超過であった。
この入札2件の不落の要因は、建設資材等が高騰傾向にあり、また設計時期と入札時期にタイムラグ等が生じ、入札価格が予定価格を超える状況となった。

問 この設計価格は妥当であったか。今回も、その設計会社の下で行われているか。

答 東京都内に事務所を有する設計業者でしたが、本年度は、県内業者で実施した。
入札時期における実勢価格との開きが出ないよう、詳細な問い合わせができる状況づくりに努める。

問 東京の業者の設計は圧縮設計だったと思うが、今後不落が2回、3回とならない仕組みづくりを。

答 意匠的な部分で東京の感覚と地方の感覚が違い反省している。高知県内の状況に配慮できる設計で臨みたい。

私の意思表明

1月第1回臨時会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成

●:反対

議案	氏名	山中鶴幸	藤原利彦	池田雄	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	尾崎政廣	戸梶章	森下雅文	結果
なし											議長	

(1月第1回臨時会 全会一致 2件)

3月第1回定例会

○賛否の分かれた議案等

○:賛成

●:反対

なし											議長	
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

(3月第1回定例会 全会一致 22件)

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。
※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 西川龍子

2月26日(火) 午前10時より

川村住民課長より

1. 国保税の条例改正予定は、県一化により、県への納付金が前年度比で約1千300万円の増となり、税率の改正が必要となった。
2. 差し押さえ不動産の公売、すべて落札。

井上教育次長より

1. 1月13日成人式(54人)
2. 1月27日市町村駅伝大会(39位)
3. 2月9日、10日、日高

村生涯学習フェスタを実施。教育委員会表彰、教育実践表彰があった。

4. 能津保育園の地質調査の結果、設計の変更が生じ、利用開始が9月から1月にと遅くなる。

山崎企画課長より

取り組み事案11件について説明。

1. 「日高未来会議」が日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進について、最終の3月には、「未来フェスタ」の開催を予定。
2. 「能津みらい会議」は振興策推進を目的として、組織・施設づくりに、県の集落活動センター事業を活用。あと2回会議の予定。

森下総務課長より

1. 2月3日消防初午行事開催。
2. 今議会の提案は、補正



消防初午行事

経済建設厚生常任委員会



委員長 野村重夫

2月27日(水) 午前10時より

予算6会計と当初予算6会計、条例改正等の10議案について報告を受けた。

3. 村有地財産の払い下げについて、払い下げの土地は、日高村本郷金林坊630番地2、地目は原野、地積は344㎡で隣接する土地と一体として使用管理したいとの申請。

委員より質問や意見があり、賛成多数で払い下げを了承し閉会した。

大川内建設課長より

土讃線岡花土佐加茂間146k700m付近拡幅工事に係る2018年度の協定の精算額について

締結日 平成30年6月4日

相手方 四国旅客鉄道株式会社

代表取締役 半井真司

当初額 6千348万7千円

精算額 5千391万2千698円

差額 955万4千302円は平成31年度協定に回す

住宅新築資金の差し押さえ1件については、12月に売却決定されている。

谷協健康福祉課長より

要望のあった健康センターのランニングマシンが3月中旬に設置される。

3月26日障害者自立支援協議会全体会、3月28日地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員会を実施する。

松岡産業環境課長より
望ヶ丘墓地公園

本年度は、10区画の申請があり、使用許可を出している。残区画は12区画となっている（全部で39区画）。

村の駅ひだか

平成30年12月売り上げは前年度比97・4%、来客数は前年度比95・7%、平成31年1月売り上げは前年度比88・8%、来客数は前年度比92・3%となっている。

平成30年度総売り上げは、1億8千345万4千719円で、前年度比97・2%で、平成28年度程度となっている。

オムライス街道

1月末時点のオムライス街道の食数は、合計5万233食で、前年度比78・5%、昨年度より2店舗減ったこともあり、昨年度より減少傾向にある。

日下川・戸梶川一斉清掃活動

2月17日に日下川・戸梶川の一斉清掃を行い、107人の参加で920kgのごみを収集した。



日下川・戸梶川一斉清掃（日下川調整池）

日高村振興対策
特別委員会



委員長 戸梶 章

2月27日（水）午後3時
15分より

山崎企画課長より

前回委員会以降の取り組み状況について

1月20日（第3回）と2月24日（第4回）の会議を含め、これまでの「能津みらい会議」での振興に資するためのポイント。

1. 住民数を維持し増加させるために、集合住宅・宅地造成・空き家対策等の実現を目指す。
2. 地域生活を豊かにするために、みんなが集まる場・小売り店舗・乗り合いバス・子育て支援等の実現を目指す。
3. 地域観光や交流人口を増やすために、みんなが集まる場・キャンプ場や沈下橋周辺の整備等の検討を進める。

これらを維持運営し得る「組織づくり」については、高知県集落活動センター事業を活用することが確認された。

また能津みらい会議だよりとして、これまでに議論された内容やその成果や将来への方向性等を記載し、3月の広報誌に合わせ、能津地区の全153世帯に配布する。

委員より

1. 能津地区の集合住宅については、収入に対応した家賃設定だけでなく、長く住んでいただくための幅広い考え方に基づいた、家賃設定等も考慮すべきである。
2. 能津みらい会議には、小学生も参加しており、自分たちの意見も出しながら、大人の意見も聞き、真剣な眼差しで取り組まれており、子どもたちがこの

会議に参加することによって、地元に対する意識も随分と変わるとともに、子どもたちにとっても宝物の会議になっている。

日高村治水対策
特別委員会



委員長 尾崎政廣

2月28日（木）午後1時
30分より

前田治水対策室長より

1. 前回委員会以降の取り組み状況

①大内中の谷地区

第6回大内地区日下川放水路対策協議会開催

日時 11月29日
場所 いの町大内

内容 農村婦人の家協議会からの要望

について、国・県・いの町・日高村か



日下川改修期成同盟会会議



日下川改修期成同盟会見学会



岡山県真庭市議会行政視察



中土佐町議会行政視察

ら説明
協議会の継続を確
認
後日(12月26日)平
成26年浸水状況現
地再調査

②大内の南の谷地区
代替水源調査

日時 1月22日

場所 いの町南の谷コ
ミュニティーセン
ター

内容 代替水源計画協議

③日下川新規放水路工事
村民見学会

日時 2月16日
9時30分・11時

場所 斜坑口工事ヤード

内容 工事概要説明
トンネル内見学

④「日下川改修期成同盟会」
会議開催

日時 2月16日
14時30分

場所 日高村社会福祉セ
ンター

内容 活動報告、床上浸
水対策事業状況報
告、トンネル内見
学

2. 床上浸水対策特別緊急
事業 工事進捗状況
- ① 国事業 導水路工事、放
水路橋付け替え工事
- ② 県事業 河川改修
- ③ その他 残土処理場状況
3. その他
- ① 日高村総合治水対策推進
に関する条例(スケ
ジュール)
- ② 江尻地区親水公園
- ③ 危機管理型水位計設置

行政視察を
受け入れしました

1月24日(木)
岡山県真庭市議会 2会派
特産のトマトを活用した
「日高村オムライス街道」
の取り組みについて行政視
察に訪れた。

2月19日(火)
中土佐町議会
教育民生常任委員会
日高村立図書館「ほしの
おか」について行政視察に
訪れた。

一般質問に8氏が立つ



池田 雄議員

能津みらい会議について



能津みらい会議

質問 能津みらい会議について内容と方向性について聞く。

答弁 山崎企画課長 6回の計画で実施している。主として保育園、小学校を存続させ得る計

画を念頭に住民数の維持及び増加、地域生活を豊かにすることを柱としている。具体的には子育て世帯の移住・定住、集合住宅の整備、空き家対策、宅地造成等の議論が続いている。

政策立案の基礎となる調査

質問 政策は基礎的な調査に基づいて立案されると考えるが、本村の状況について聞く。

答弁 森下総務課長 来年度について、農業センサス、国勢調査に向けての調査費、工業統計調査等の予算を組んでいる。 農林業センサス調査の結果は、地方交付税の算定基礎資料、地域活性化の農業集落データ分析等に活用している。 また、各課では独自に関係項目について調査を実施し、結果を計画に反映している。

自主防災組織について

質問 自主防災組織の組織率について聞く。

答弁 森下総務課長 現在の組織率は93.4%である。未組織地区は9地区であり、引き続き結成に向けての説明をしていく。

ドローンの整備について

質問 ドローンの整備状況について聞く。

答弁 森下総務課長 整備できていない。今後検討していきたいと考える。

児童虐待について

質問 児童虐待について聞く。

答弁 吉岡教育長 緊急事態に対応できるよう関係機関との連絡網を整備している。今後研修等を行い、対応能力の向上に努める。重要案

件や緊急事案に関しては教育支援室、健康福祉課との連携も含め、専門家チームを組み、早期対応をしていく。

能津日下間のトンネル

質問 能津日下間のトンネルについて、1月に能津地区住民との意見交換会が開催された。住民の意見に対しての感想を聞く。

答弁 戸梶村長 大きな期待を持っていることがよく分かった。ハードルは高いが、能津、日下、加茂地区も含めた日高全体の中でトンネルに対する考え方を整理し、能津の方々の思いに応じていく方法を頑張っ

その他の質問事項

- 小中学校のエアコン設置について
○日下保育園能津分園について

望ヶ丘集会所の件



藤原利彦議員

質問 昨年、望ヶ丘自治会から要望していた集会所建設について、進捗状況を聞く。今回導入しようとしている事業名は何か。またその補助率は。

答弁 森下総務課長

設置に向けて、検討した結果、コミュニティ助成事業もあったが、高知県介護基盤整備等事業費補助金が、一番有利な事業ということで、また地元自治会においても補助事業を受けるにあたっての取り組みが、実施可能ということで申請している。補助金の限度、基本

単価として、850万円ということになっている。

質問 その事業の締め切りはいつか。

答弁 谷脇健康福祉課長

要望は、県の方へいつており、平成31年度に入ってから申請をするように連絡があった。

質問 その事業のために自治会が準備しておくことは何か。また結果が分かるのはいつか。

答弁 谷脇健康福祉課長

介護予防拠点となるので、週1回以上、おおむね10人以上の参加により、介護予防の事業を行うということ、健康に関する教室、勉強会など自治会の方で事前に話し合っていたきたい。

結果は、例年8月の中旬ごろ、国から内示があり、10月上旬決定がおりる。

望ヶ丘団地内 村道化の件

質問 平成17年から6回の道路補修工事をしており、多額の負担金を払ってきた経過がある。今後補修工事は必要になるが、負担金の捻出が困難となることは必然であり、団地の幹線道路と支線も含めて、村道化をお願いする。

答弁 大川内建設課長

今後、ますます維持管理の負担が増していくことが考えられる。村営墓地が整備され、今後、新たな施設が建てられるという計画も進んでおり、その進入道路ということで、条件は一定整っていると考えている。住民の負担軽減のための施策が必要だと考えており、慎重に判断したい。

その他の質問事項

- 国道33号改良工事の件
- 旧サンクス、岩目地マールシェ前のがけ崩れの件



維持管理費が増すと考えられる望ヶ丘団地内道路

日下、能津間のトンネル



森下芳文議員

質問 村挙げての悲願として取り組まなければと思うが。

答弁 戸梶村長 このトンネルの問題については、議会の方でも決議をいただいた。その

ほかもろもろの要請もあって、スタートしたところだ。
日高村の大きな課題として全力で取り組む。

西バイパスの延伸

質問 波川までが完成すれば、西に渋滞が伸びるのは火を見るより明らかだが、小刻みに西伸するより、岩目地三差路まで一挙に同時着工というぐら

いの思惑で要望していく課題と思うが。

答弁 戸梶村長 国道33号整備促進期成同盟会の要望事項の中に、波川越知間の事業化に向けた要望を入れ、取り組んでいる。
答弁 大川内建設課長 波川、越知間のバイパスの実現に向けた取り組みを始めたところだ。

質問 歩道が確保されていない場所での、自転車は大変危険だ。早急な取り組みを。

答弁 戸梶村長 一生懸命取り組んでいる。

運動公園入り口の出入り

質問 具体的な工夫の跡を聞く。

答弁 井上教育次長

施設利用の申し込み時に利用者の方、代表者の方、大会運営団体の方へ、通行の際に地元の方へ不便をかけるような配慮を、張り紙、チラシ、口頭でお願いしている。
先日の大会では、主催者が放送でお願いした。

質問 周知徹底が不十分だと思う。掲示板など、さらなる工夫を。

答弁 井上教育次長 今の段階ではお願いという形なので、対応を研究していきたい。

日高中の案内板設置

質問 日高中学校、周辺で耕作している方より、「中学校はどこにあるろう」とよく聞かれるが、分かりやすい案内板の設置はしないかと聞かれたが。

答弁 吉岡教育長

近年、ハウスが増えて学校が分かりにくいということは確かだ。関係課とも相談して、設置場所、大きさ、設置可能かなど、検討したい。

通学路の安全

質問 中学生の希望するクラブへの入部をかなえるために、交差通学が行われている。

そのために、通学路の夜間の明るさが大丈夫だろうかと危惧する声が聴かれるが。

答弁 吉岡教育長

赤禿橋から岡花駅の400メートル外灯がついていない。
通学安全対策協議会、学校関係とも相談しながら検討する。

その他の質問事項

- 公共工事の事前調査
- 地盤沈下について
- 沖名踏切拡幅
- エコサイクル
- 村の広報フェイル他9項目



外灯がない赤禿橋から岡花駅間の通学路

防災対策で 住民の安心を



西川龍子議員

質問 北海道の震災では、水道復旧に1カ月かかったと聞く。全国の主要な水道管のうち、震度6強程度に耐えられる耐震適合率は、2017年度末で39・3%、政府の国土強靱化基本計画では、2022年度末までに50%以上とする目標を掲げている。

答弁 数年前の質問で、水道管の耐震化は計画していると聞いているが、住民の安心と生活を守るため、村の現状について問う。

中央簡易水道と清流の里簡易水道の事業統合により、平成29年度に統合後、生活基盤施設耐震化等事業計画を策定し、計画的に耐震化を図っている。

平成30年度末から平成42年度までの13年間で、耐震化率を40%としており、平成30年度末では、24・4%となっている。

本年度は緊急遮断弁付きの新配水池330トンを江尻に設置、震災時の断水時には、応急配水が可能となる。

平成28年4月には、高知市と水道事業の広域連携に関する協定書を締結、災害対策や緊急時対応についても、連携可能な状況にある。

今後さらさらに広域連携の強化を図り、いざというときの対応強化に取り組む。

質問 政府は、中央防災会議の作業部会の報告書案に合意したとし、マグニチュード8級の大地震が、東西どちらかで起き、残り半分でも続発する可能性が高まった場合、続く地震による津波への避難が、間に合わない住民や避難に時間がかかる高齢者等は、事前に避難する方針としており、事前避難は1週間を基本とし、その後も、さらに1週間とあった。

日高村でも、家屋の倒壊や裏山の土砂崩れを心配する方々や避難に介助が必要な方々等、様々な状況があると思う。

この臨時情報は、空振りもある情報でもあるが、活用すれば、被害は軽減できる。日高村の対応と福祉避難所の設置数、対象者数は。

答弁 森下総務課長

臨時情報について、県から今年度5回の説明会があった。「半割れ大規模地震被害甚大ケース」「一部割れ前進可能性地震被害限定ケース」「ゆっくり滑り被害なしケース」と想定。南海トラフ地震の発生過程には多様な性があり、これ以外の現象が発生する可能性がある。地震発生前に臨時情報が出るわけではないことから、対策は突発対応を基本とし、臨時情報の不確実性も考慮した上で、防災対応を実施。

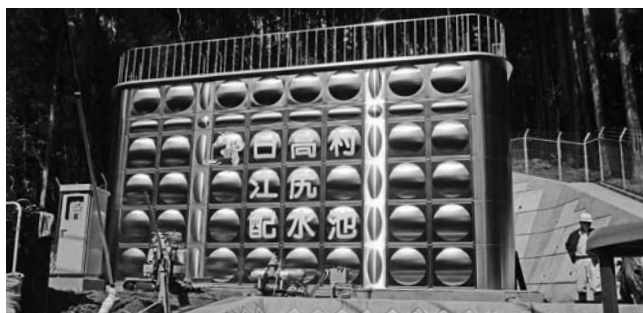
「半割れケース」の場合は、耐震性のない住宅に居住する住民、土砂災害警戒区域イエローゾーン内に居住する方も避難の対象となっている。「半割れケース」について、最も警戒する時期は、1週間で、何もなければ、その後の1週間は「一部割れのケース」の対応を取る。合わせて2週間の避難準備となっている。

今後は、来年度も引き続き、防災対応の検討を行い、地域防災計画を変更し、2020年度から運用開始する予定と聞いている。

村内の指定協定福祉避難所は、村内6カ所と広域協定で県立日高養護学校を指定、避難行動要支援者数は、名簿登録が647人となっている。

その他の質問事項

- いじめ対策
- ヘルメット購入補助金制度
- 保育園の完全給食と無料化
- 肺炎球菌ワクチンと風しんの受診勧奨を
- 避難所（体育館）エアコン設置を
- 他2項目



完成した新配水池

消費税・増税は 中止を



野村重夫議員

低所得者ほど 負担が重い

質問 消費税は1989年4月に、税率3%で開始されて以来、現在は8%になり、10月からは10%になる予定だ。消費税は、低所得者ほど負担が重く逆進性が高

い税制として、税率が高まるごとに、その負担により消費を冷え込ませ、経済成長を阻害してきた。

このことよって、村民の中に格差が広がっている。副村長の認識を聞く。

答弁 藤田副村長

日本生活協同組合連合会による組合員の消費税調査において、2017年の調査結果では、収入に占める消費税負担額の割合を所得階層的にみた場合、年収400万円未満世帯では前年より0.51ポイントと大きく増加し、5.72%となり、年収1千万円以上世帯の2.80%の2.04倍となり、2016年度より格差がひらく結果となったという報告があつてい

質問 副村長も消費税は、低所得者ほど負担が重く、逆進性が強く、増税すれば格差は拡大されると認めた。消費税10%はきっぱりと中止をするべきだ。

問題は、社会保障のた

めといいながら、医療・介護・年金など30年間改善の連続であった。社会保障に使われていないと思うがどうか。

答弁 戸梶村長

地方消費税法の中に、増税分については、社会保障費に充てなければならぬと書いている。村に来た分は、社会保障の方で運用している。

質問 村民の中に社会保障が良くなったという実感はない。30年間の社会保障の連続改善で生活不安が広がっている。

消費税が社会保障費に充てると書いていても現実には、そうならない。

答弁 藤田副村長

消費税の引き上げ分は、社会保障の財源になつてい

ものを賄うという耐久的な財源という位置づけがされていると理解している。

告知放送の改善を

質問 八坂地区4自治会(長山田・今宮・日ノ出・小村駅西)の告知放送は、長山田川の真ん中にスピーカーが設置されている。

今宮・日ノ出・小村駅西の3自治会と長山田の半分北側は、はっきり聞こえている。南側奥へ入ると、放送しているのは分かるが、音が割れて内容が聞き取れない。聞き取れるように改善を求め

答弁 山崎企画課長

屋外告知放送の改善については、地域ごと、当



八坂地区の告知放送スピーカー

初の施設整備から、これまでの間に、音量等調整はしてきている。

しかし、指摘の地域は屋外放送が聞き取りづら

その他の質問事項

- 村長の政治姿勢について
- 米軍機の墜落事故について
- 子どもの医療費18歳まで無料化について

村営住宅の 南海トラフ地震対策について



山中鶴幸議員

改良住宅の 新築について

質問 平成30年2月、政府地震調査委員会は、今後30年以内に南海トラフ地震発生確率を、70〜80%と微増であるが引き上げ、危惧が増した。

村営住宅団地の中で、建築年度が昭和50年度、51年度、52年度、53年度の改良住宅5団地は、現在の建築基準法耐震基準には、耐震不足となり、想定最大震度発生で、これらの5団地は倒壊・崩

壊しないかと危惧され、人災となりかねないと思われる。早急の耐震施工を求めるが、耐震施工よりも、より安全性が保障される新築に取り組むことが最良策と考え、村の所見を聞く。

答弁 大川内建設課長

ご指摘の改良住宅は、昭和50年から昭和53年に建築され、現在の基準に照らすと耐震不足である。また構造がコンクリートブロックであり、耐震補強もできないのではないかと考える。これらのことも踏まえ、本年度末をめどに公営住宅等長寿命化計画を策定している。

この計画は、村内公営住宅の向こう10年間の目標を定め、点検の実施方針の設定。計画修繕の実施方針の設定。改善事業

の実施方針の設定。建て替え事業の実施方針の設定となっている。

耐震補強のできないこれらの住宅は、この計画の中で集約・建て替えの方向で検討をしている。

液状化対策について

質問 南海トラフ地震発生時に想定最大震度となれば、建築地盤の液状化が危惧される改良住宅は6団地、公営住宅は5団地あり、調査並びに地盤補強等の施工が必要と考え、村の所見を聞く。

答弁 大川内建設課長

高知県が公表している防災マップでは、約200mメッシュくらいの区画で示され、またデータ等が少なく不確定な部分もある。参考までにマップで見ると、液状化の可能性が大きな区域に建築されている村営住宅が第1団地A、第1団地C-1、第2団地AとBになっている。

また中程度の区域に含まれる団地が、清水田団

地・国岡団地AとBになっている。

それ以外については、可能性が少ない、またはない区域に含まれる。いずれにしても液状化が懸

念される状況ではあるがまずは、耐震化の対策を優先させたい。

液状化対策は、今後改良住宅等の建て替えを検討する中で、検討する。



液状化を懸念される村営住宅

鳥獣被害 ジビエの活用



横山泰昌議員

質問 少子高齢化、人口減少により、共同作業のコミュニティ機能や支え合い、地域の担い手不足などの要因で、集落機能の維持が厳しい状況となっている。

また高齢化と相まって鳥獣被害により、農家の生産意欲が低下をし、農業地の遊休化が進んでいる。

そこで移動式解体処理車か、解体処理施設を設置してはどうか。

答弁 松岡産業環境課長

整備をされた解体施設があれば、ジビエとして活用が広がることや若い方が駆除に加われれば、処理に困ることがなくなり、効果がある。駆除隊のメンバーにも意見を聞きながら検討する。

火葬場建設の状況

質問 2011年3月11日に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）で、東北地方を中心に、死者1万5千891人、行方不明者2千579人が犠牲となった。

津波による死者が多く遠くの火葬場にお願した経過があるそうだが、それでも、火葬場に間に合わなく2年を期限に土葬にし、落ち着いた後、遺体を掘

り起こして洗浄し、火葬にしたと聞く。

将来、土佐沖にも南海地震、来てはならない地震だが、大変重要な問題もでてくる。

そこで、広域で火葬場の建設を望むがどうか。

答弁 戸梶村長

村単独での設置は、財政的、効率的に、非常に無理があるので、広域的に捉えていくべきと考える。今の段階で、この問題を検討していく状況には、仁淀川広域の中では厳しい。

村長の政治姿勢について

質問 日下川新規放水路建設に伴い、日下川改修期成同盟会の組織が、大変役に立った。

そこで、能津トンネルを実現する期成同盟会を検討したら良いと思うが。

答弁 戸梶村長

この問題は、能津の問題として捉えるのではなく、日高村の大きな課題として検討していきたい。

ハードルは非常に高いが、日高村が一体となつて、そういう組織を検討していかなければならない。

健康センター

プールの利用について

質問 高齢者健康センターのプール室を新たなト

レーニングルームとし、ルームランナー等の健康器具の増設をしてはどうか。

答弁 戸梶村長

使い勝手のいい施設を考えると一定の予算が必要である。ふるさと納税で呼びかけはできないか、また、有利な補助金等を含めて検討する。



使用されていない健康センター内プール室

300有余年の 内水問題 解消へ!!



戸梶 章議員

質問 平成32年度内の完成を目指す「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業」として、高知県が実施している日下川改修工事による平野川・井峯川の流末部の洗掘防止対策及び、日高村が実施する国道やJR線を横断している暗渠断面積の不足等への対応経緯を聞く。

答弁 大川内建設課長

1. 平野川や井峯川等の流末部については、県担当者からは周辺の軟弱地盤にも考慮し、改修後



井峯川・柏井川の流末

の出水状況も確認しながら、洗掘防止対策の実施も含め、検討を進めるとの説明を受けている。

2. JR線の暗渠部が6カ所、国道部が3カ所の合計9カ所の断面不足が心配されており、現在、大和田川は検討中であり、他の箇所についても機会を捉えて検討を進める。

より良い村づくり!!

質問 村が維持管理すべきである諸施設等について、もう少しこのように改善してほしいとか、このようにすればもっと良くなるのではないかと、個人や企業や各自治会等から数多く要請されていると思われるが、村の対応状況等を確認したい。

答弁 藤田副村長

住民の皆様方からの口頭による要望も多く、お聞きした職員が担当課に伝え、担当課が現地等を確認して、簡単な事象等を除き、記録に残し、要望者に連絡する体制としている。

質問 住民課の主要施策であるマイナンバー制度、国民健康保険の高知県による一括管理、地方税徴収率の向上等の主要施策による成果を聞く。

答弁 川村住民課長

1. 個人番号制度は民生・児童委員の定例会や行政連絡会や村の広報紙などの啓発によって、2千427世帯5千263人に送付され、受け取り拒否が1人、受け取りができない方が9人と一応の目的は達成された。

2. 平成27年度の国民健康保険事業は、資格管理が住民課、給付関係が健康福祉課に分散していたが、平成28年度より住民課に集約し、事務の効率化と住民サービスの向上につながっている。また特定健診受診率や重症化予防事業の推進、収納

対策の強化等による成果によって配分される特別交付金についても日高村は県内34市町村中5位であった。

3. 地方税の近隣町村との均衡化について、近隣6町村間の協議会や3

町村合同の航空写真撮影等により、事務の公平性及び効率化につながった。

質問 平成26年12月議会で確認した建設課の重要度が一番の治水事業を除く、主要3施策の成果等を聞く。

答弁 大川内建設課長

1. 村道43路線のうち何らかの対策を行った路線は25路線であり、緊急時に救急車や消防自動車が行き止まりにならない路線については、仁淀消防日高分署との再精査を予定している。

2. 水道管の耐震化は平成30年度で1万7千427m(23.2%)が完了しており、平成42年度末の耐震化率40%を目指している。

3. 村営住宅の5団地56戸が耐震基準を満たしておらず、早急な対応が求められており、現在策定中の公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約や建て替え等を計画的に進める。

議
会
日
誌

18	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1																							
大川村だけじゃな い地方議員の会 森下(雅)議長 藤原・森下(芳) 尾崎	議会広報発行調査 特別委員会 西川・山中・野村 森下(芳)・藤原 森下(雅)議長	日高村成人式 全議員	定期監査 野村	能津みらい会議 森下(雅)議長 藤原・池田・尾崎	岡山県真庭市議会 行政視察 森下(雅)議長	例月現金出納検査 野村	新議員研修 藤原・池田	仁淀川広域市町村 圏事務組合議会監 査 池田	臨時会・全員協議 会	老人福祉大会 森下(雅)議長 山中・藤原・横山 野村・尾崎	新幹線で四国を変 えよう 森下(雅)議長	消防団初午 森下(雅)議長 西川	定期監査 野村	国保運営協議会 戸梶・森下(芳) 西川・野村	日高村佐川町学校 組合議会 森下(雅)議長 西川	山下川改修期成同 盟会 全議員	中土佐町議会行政 視察 森下(雅)議長	仁淀川下流衛生事 務組合議会第1回 定例会 山中・横山	高知中央西部焼却 事務組合議会第1 回定例会 藤原・西川	第70回高知県町村 議会議長会定期総 会	高知県町村長・町 村議会議長大会及 び意見交換会 森下(雅)議長	能津みらい会議 森下(雅)議長 池田・野村	天皇陛下御在位30 年記念式典 森下(雅)議長	総務常任委員会 西川・池田 森下(雅) 森下(芳)・戸梶	経済建設厚生常任 委員会 野村・藤原・尾崎 横山・山中 森下(雅)議長	治水対策特別委員 会 尾崎・戸梶 森下(芳)・池田 山中 森下(雅)議長	日高村振興対策特 別委員会 戸梶・池田・尾崎 横山・藤原 森下(雅)議長	議会運営委員会 戸梶・藤原・尾崎 横山・森下(芳) 森下(雅)議長	佐川高等学校卒業 証書授与式・祝賀 会 森下(雅)議長	7 15 第1回日高村議会 定例会	8 全員協議会 (予算説明会)	13 日高中学校卒業証 書授与式 森下(雅)議長 池田	27 加茂中学校卒業証 書授与式 西川・藤原	22 能津小学校卒業証 書授与式 山中・藤原・池田 西川 森下(雅)議長	20 加茂小学校卒業証 書授与式 西川	19 仁淀消防組合議会 尾崎・横山・池田	17 能津みらい会議 森下(雅)議長 戸梶・藤原・池田 野村	27 例月現金出納検査 野村	27 日高村佐川町学校 組合議会 森下(雅)議長 西川

編集後記

一般質問の通告書を書くとき、適当な言葉が(熟語)が出てこない。学生のころにもっと勉強をしておけばと後悔するが、後の祭りである。

4月1日、新しい元号が「令和」になることが決まった。平成も31年の途中で終わりである。

そこで、漢字の意味を考えてみた。平成の「平」は、何事もなく安らかなことで、「成」は、なる、成し遂げるとある。大被害を出した自然災害が、いくつも起き、どうも元号どおりにはいかなかったように思う。

では、「令和」には、どういう意味があるのだろうか。「令」は、よい、りっぱな、と為政者自身が正しかったら、たとえ命令しなくても正しい政治が行われるとあ

り、「和」は、やわらぐ、なごむ、うまくまとまる。あれ、安倍首相が発表した思いとは、全然違う意味がでてきたが、この二つの漢字には、こういう意味があることの説明は受けていないのだろうか。



満開の桜 (日高村運動公園野球場側)

次回議会は、6月6日(木)午前10時に開会の予定です。お気軽に傍聴に、お越しください。

広報委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 森下 雅文

議会広報発行調査

特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 山中 鶴幸
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文
- 委員 藤原 利彦

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。